

平成24年2月12日(日)

松原地区での雪かき体験会「熱く雪かきします隊」が無事に終了しました

東北では珍しくない雪かきツアーですが、広島県内では初開催であり、テレビ局3社、新聞社1社が同行しての体験会となりました。参加者35名のほとんどが沿岸部在住の方で、最年少は9歳、最高齢は72歳というまさに老若男女入り乱れての雪かきでした。

松原地区は世帯数60強、人口150名弱、高齢化率50%強というまさに30年後の日本を地でいく状態です。松原地区を含めた安芸太田町の地域活性化や住民生活活性化の方法を見つけ出すことが将来日本の各地で起こるであろう問題を解決する処方箋となることを信じています。



松原自治会の皆さんご苦労様でした。

安芸太田町は実は日本の未来を占う「先進地域」なのです

観光を「目的の如何を問わず町外在住者が来町し、経済効果その他さまざまな効果をもたらすこと」と定義すれば、有名観光地などのやり方を真似するのではなく、安芸太田らしい、言い換えれば安芸太田にしかない観光振興方法を模索すべきです。参加者へのアンケート結果では、「温かいお金※」を使うことに価値を見いだす方の多さに驚きました。

そして、今後安芸太田町の困りごと解決のために共に「お金」を払い、都市部ではできない「体験」として取り組んでくださる意思表示をされた方は28名(約80%)いらっしゃいました。

今回の雪かきツアーの結果を踏まえ、更に各自治会との対話を進め、安芸太田らしい安芸太田にしかない商品づくりのためにまい進したいと考えています。

※「温かいお金」は、人と人の関係のなかで使用されるお金、あるいは人と人の関係のために使うお金のこと。一方、貨幣上の価値以外の何もかも付与されていないお金は「冷たいお金」。哲学者：内山節氏 講演会より引用

新しい観光商品は皆さんの身近にあります。困りごとすら、都市部と過疎地を繋ぐ「商品」となりうる素材であることを強く意識していただければと考えています。

一緒に眠っている素材を掘り起こしていこうではありませんか!!

観光情報 募集!

観光協会では、ホームページリニューアルにともない、町内の詳細な観光地・史跡情報を募集しています。掲載して欲しい情報がございましたら、観光協会へご連絡ください。スタッフが順次取材にお伺いいたします。

第60回交通安全ポスター・作文コンクールで3人が入賞

昨年11月24日に第60回交通安全ポスター・作文コンクール入賞作品が発表されました。

ポスター部門で、戸河内中学校2年の伊達ななみさん(写真左から2番目)が広島県警察本部長賞に選ばれました。同じくポスター部門で、戸河内中学校1年の栗柄春菜さんが銅賞を受賞されました。

作文部門では、戸河内中学校3年の藤原昇悟さんが広島県交通安全協会会長銅賞を受賞されました。

